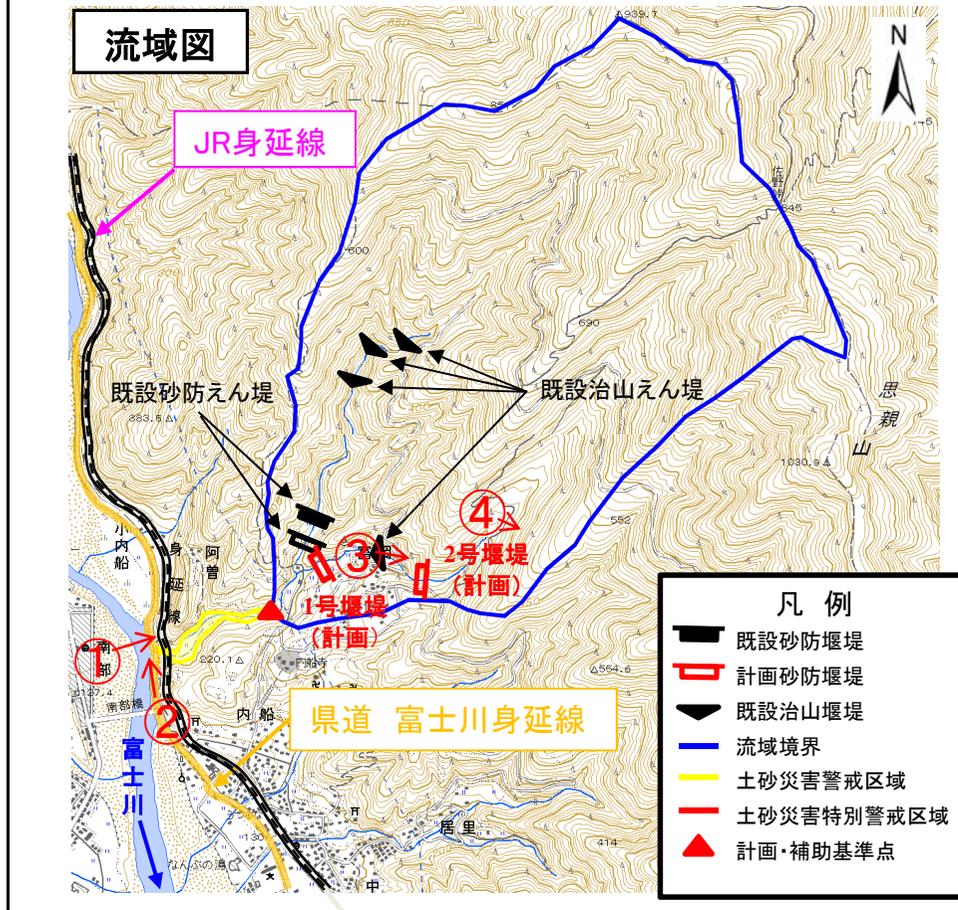


1. 事業説明シート

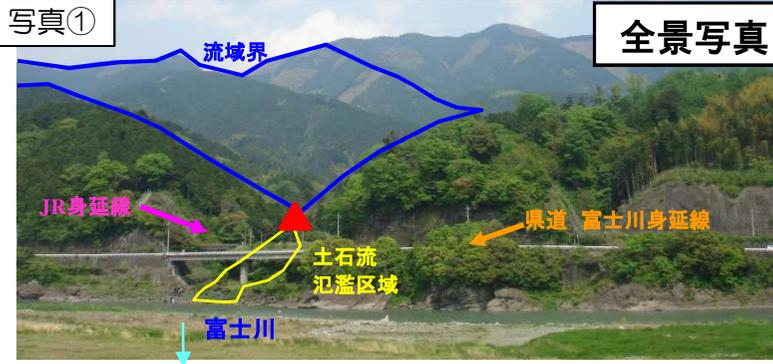
<b>事業名</b>	砂防事業〔通常砂防事業（国補）〕	<b>事業箇所</b>	南巨摩郡南部町内船	<b>地区名</b>	戸樋の沢川	<b>事業主体</b>	山梨県																																							
<b>(1) 事業の概要</b>				<b>(3) 事業の妥当性評価</b>																																										
<p><b>①課題・背景</b>                  戸樋の沢川流域は、崩壊や溪岸浸食が進行し、溪床には不安定土砂が堆積しているとともに、溪岸沿いには立木が密集している。今後の台風や集中豪雨時には山腹崩壊拡大、土砂流出、流木による土石流発生の危険性が高い。                  この溪流には現在、砂防堰堤2基と治山施設が整備されているが、整備率は47%と低い状況である。下流にはJR身延線や県道などの保全対象もあり、早急に土石流対策の砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する必要がある。</p>				<p>妥当 妥当でない</p> <p><b>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）</b>                  砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p><b>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）</b>                  砂防法第5条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p><b>③経済妥当性</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p>																																										
<p><b>②整備目標・効果</b>                  □主要目標 ○土石流被害の防止                  ・災害実績 有                  ・土砂整備率 47% → 100%                  ・流木整備率 43% → 100%                  ・重要公共施設の有無 有（JR身延線等）                  （保全対象＝人家8戸、県道富士川身延線、JR身延線等）</p>				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>720 百万円</td> <td>工期</td> <td>R1～R9</td> <td>基準年</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>604 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">836 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>604 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">164 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>0 百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">39 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">133 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">500 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">1.4</td> </tr> </table> <p>※その他は、人的被害（精神的損失）、緊急対策（家計）</p> <p>費用便益比（B/C）は国の採択基準1.0を超えており、経済効率性は確保されている</p>				総事業費	720 百万円	工期	R1～R9	基準年	R1	経済効率性	費用	604 百万円	便益	836 百万円		建設費	604 百万円	一般資産被害抑止	164 百万円		維持管理費	0 百万円	人身被害抑止	39 百万円				公共土木施設等被害	133 百万円					その他※	500 百万円		B/C			1.4		
総事業費	720 百万円	工期	R1～R9	基準年	R1																																									
経済効率性	費用	604 百万円	便益	836 百万円																																										
	建設費	604 百万円	一般資産被害抑止	164 百万円																																										
	維持管理費	0 百万円	人身被害抑止	39 百万円																																										
			公共土木施設等被害	133 百万円																																										
			その他※	500 百万円																																										
B/C			1.4																																											
<p>□副次目標 ー</p> <p>□副次効果 ー</p>				<p><b>④事業実施・規模の妥当性</b>                  流域の規模、地形、地質から判断して最も効果的 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b>                  土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p><b>⑥環境負荷等への配慮</b>                  掘削法面等の緑化を行い環境負荷に配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b>                  地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p>																																										
<b>(2) 整備内容</b>				<b>総合評価</b>																																										
<p><b>①整備内容</b>                  砂防堰堤 2基                  1号堰堤 H=14.5m L=107m                  2号堰堤 H=14.5m L=57m</p>				[貢献度ランク：a]																																										
<p><b>②着手年度</b> 令和元年度      <b>③完成見込年度</b> 令和9年度</p> <p><b>④総事業費</b> 約720百万円（国費360百万円(5/10) 県費360百万円(5/10)）</p> <p><b>⑤年度別の整備内容</b> (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>詳細設計・用地測量</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>用地買収・砂防堰堤工事</td> <td>70 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>砂防堰堤工事</td> <td>70 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>砂防堰堤工事</td> <td>80 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>砂防堰堤工事</td> <td>80 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度以降</td> <td>砂防堰堤工事</td> <td>400 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではありません。</p>				令和元年度	詳細設計・用地測量	20 百万円	令和2年度	用地買収・砂防堰堤工事	70 百万円	令和3年度	砂防堰堤工事	70 百万円	令和4年度	砂防堰堤工事	80 百万円	令和5年度	砂防堰堤工事	80 百万円	令和6年度以降	砂防堰堤工事	400 百万円	<p><b>(4) 事業位置図等</b></p> 																								
令和元年度	詳細設計・用地測量	20 百万円																																												
令和2年度	用地買収・砂防堰堤工事	70 百万円																																												
令和3年度	砂防堰堤工事	70 百万円																																												
令和4年度	砂防堰堤工事	80 百万円																																												
令和5年度	砂防堰堤工事	80 百万円																																												
令和6年度以降	砂防堰堤工事	400 百万円																																												
<p><b>⑥既整備内容・期間・事業費</b>                  既整備内容 治山堰堤 4基                  竣工年：昭和47年、平成9年、平成10年、平成11年                  砂防堰堤 2基                  竣工年：昭和52年、平成30年</p>																																														

## 2. 添付資料シート

【平面図】



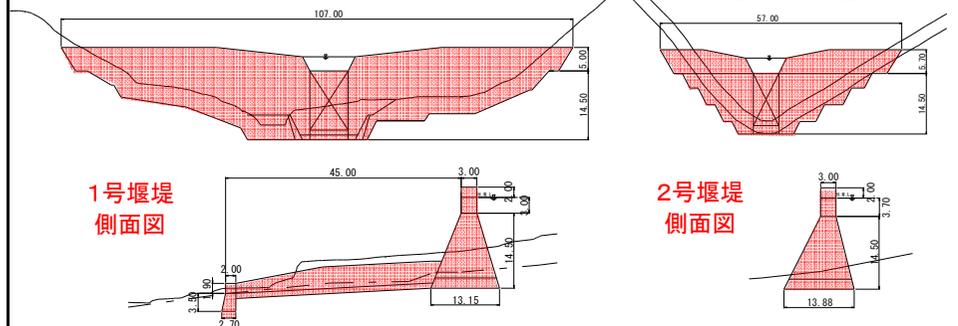
写真①



写真②



【正面図・側面図】 1号堰堤 正面図



溪床状況



河床堆積物状況



写真③

斜面の崩壊状況



流木状況



写真④